

農業共創ハブ



農業共創ハブとは

JICA筑波を拠点(ハブ)に、**開発途上国と日本の産官学を結び付け、**
開発途上国の農業農村開発が抱える課題解決を目指す取り組みです。

JICA研修員

開発途上国の行政官、研究者、普及員、留学生等

展示会



「共創セミナー」

JICA筑波で、年2回実施するJICA研修員と参加パートナーとのマッチングイベントです。製品・技術やサービスのご紹介、展示、参加者間の関係づくりを目的に実施しています。



オーダーメイドのビジネスマッチング



- 1 製品・技術・サービスの展示・実証
- 2 新規農業技術の研修事業への導入
- 3 現地JICAプロジェクト関係者とのマッチング

JICA筑波の展示スペースに、製品・技術・サービス等を展示いただけます。また、JICA筑波敷地内の圃場(水田・畑地)や温室において、製品のデモンストレーションを行うことも可能です。



JICA筑波について

JICA筑波では、**開発途上国の政府職員**
(行政官、技術者、研究者、留学生等)を**研修員**として
受け入れ、農業分野を中心に毎年60コース以上の研修を
実施しています。

年間約700人の研修員が、JICA筑波で学んでいます。



JICA筑波の施設

JICA筑波には圃場(水田8,481㎡、畑地36,977㎡)や高軒高環境制御型温室、ガラス温室9棟、網室4棟、ビニールハウス、実習棟4棟(稲作、野菜、農業機械、かんがい排水)、収穫後処理施設室、講義室などの施設があります。製品を紹介いただく際には、これらの施設をご活用いただけます。



研修員に自社製品を紹介し、各国の農業課題、同様の製品の有無(ある場合、価格、販路等)、製品の関心有無・課題等をヒアリングすることができた。

調査予定国の研修員とネットワークができ、円滑な調査につながった。

農業共創ハブ 参画パートナーからの声

研修員に土壌改良材のサンプルを渡し、帰国後に使用してもらい、現地での成果についてフィードバックを得ることができた。

今後のビジネスの可能性・現地のニーズ・今後の協力体制等についての意見を聞くことができた。

「製品・技術の紹介・実証に関心がある」

「自社の製品・技術が海外でニーズがあるか知りたい」

「アジアへの進出を考えているが、どの国が良いか」など、

皆様のニーズと開発途上国の人材を繋げます！

ご関心をお持ちの方は、ぜひ「お問い合わせ先」にご連絡ください！



お問い合わせ先

JICA筑波 研修業務課

✉ tbicttp@jica.go.jp

〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-6 tel:029-838-1744



農業共創ハブ Webサイト



JICA筑波 施設紹介

動画が再生されます